

# This Took Guts



## 卒業スピーチで「中絶全面禁止」に抗議！ 米高校生 パクストン・スミス

2021年、米テキサス州レイク・ハイランズ高校の卒業式で総代のパクストン・スミスさんが読み上げたスピーチは、事前に提出・承認を受けていた原稿とは異なり、同州で新たに制定された法律を強く批判する予定外のものであった。スミスさんが壇上で異議を申し立てたのは、同州で今年5月にアボット州知事により署名された中絶禁止法、通称「ハートビート法案」と呼ばれるもので、これは胎児の心音確認後は母体の命を守る必要性が生じた場合を除きいかなる中絶も——つまりレイプや近親相姦による妊娠であっても——認めないとする法律だ。切実な懸念を訴えたスミスさんの声は震えており、どれほど勇気のあることだったかが伝わってくる。今回のスペシャル・インタビューでは、そのスピーチの一部と、そのスピーチの背景に迫るインタビューをお届けする。



■インタビュー／ビクター・ブラックウェル  
ワシントンのハーワード大学で放送ジャーナリズムの文学士を取得。卒業後は地方の放送局に勤め、2012年にCNN入局。確かな取材力とリポートで頭角を表し、2021年からはCNNの中核を成すニュース番組「CNN Newsroom」のアンカーの一人に。2020年には、エミー賞の「優れたニュース分析：論説と意見」部門を受賞した。



■パクストン・スミス  
米テキサス州レイク・ハイランズ高校2021年度卒業生総代。総代スピーチで、学校側の承認を受けていた予定原稿ではなく、テキサス州で定められた中絶全面禁止法、通称「ハートビート法案」を批判する原稿を読み上げ、米国内のみならず、世界中から注目を浴びることに。卒業後は、テキサス大学オースティン校に進学することになっている。

## 65 「女性のその後を左右する判断が他人に下されてしまう」

**Victor Blackwell** A lot of graduating seniors are feeling extra celebratory this year after enduring months of virtual learning. But my next guest used her cap-and-gown moment to make a major statement. Paxton Smith, a high school valedictorian in Dallas, tossed out a preapproved speech to criticize a new Texas law that bans abortions after a fetal heartbeat can be detected—as early as six weeks.

### Paxton Smith (during valediction)

As we leave high school, we need to make our voices heard. Today, I was going to talk about TV and media and content, because it's something that's very important to me. However, under light of recent events, it feels wrong to talk about anything but what is currently affecting me and millions of other women in this state. [...] Six weeks—that's all women get. Most of them don't realize that they're pregnant by six weeks. So before

**graduating senior:**

卒業する最上級生

**celebratory:**

お祝い気分の、祝賀の

**endure:**

～に耐える

**virtual learning:**

オンライン学習

**cap-and-gown:**

卒業式の角帽とガウンを身

につけている、卒業式の

**make a statement:**

意見を発表する

**major:**

重大な、素晴らしい

**valuedictorian:**

卒業生総代

**toss out:**

《話》～を捨てる

**preapproved:**

事前承認された

**abortion:**

妊娠中絶

**fetal:**

胎児の

**detect:**

～を確認する、検知する

**as early as:**

早ければ～で

**valuediction:**

卒業生総代のスピーチ

**make one's voice heard:**

自分の意見を伝える

**under light of:**

▶in the light of (～を考慮して、～の観点から)とするのが適切。

**anything but:**

～以外のこと

**affect:**

～に影響を与える、～を左右する

**realize that:**

～だと気付く

**by six weeks:**

▶ここではwithin six weeks やby the sixth weekとするのが適切。

**ビクター・ブラックウェル** 今年卒業を

迎える学生の多くは、何カ月も続いたオンライン授業に耐えた今、喜びもひとしおでしょう。しかし次にお迎えするゲストは、卒業の瞬間を重大な意見の発表に充てました。パクストン・スミスさんは、ダラスにある高校の卒業生総代ですが、事前に承認を受けたスピーチ原稿を破棄し、代わりにテキサス州の新しい法律を批判しました。この法律は、胎児の心拍確認後の、つまり早ければ妊娠6週間からの中絶を禁止するというものです。

**パクストン・スミス (卒業式のスピーチで)**

高校を卒業するにあたって、私たちは自分の声を伝えなくてはなりません。今日、私はテレビやメディアやコンテンツについて話すつもりでした。私にとってはそれが大変重要なことだからです。しかし、最近の展開を考えると、今現在、私やこの州の何百万人もの女性に影響を与えている問題以外のことについて話すのは、違う気がします。[中略] 6週間——女性に与えられる時間はそれだけです。ほとんどの女性は妊娠6週間では自覚があり